



Lib. vol.8



学生がつくる尚絅学院大学図書館広報誌【リブ。】





大学の先生方がおススメする本



尚絅学院大学の先生方数名に学生にぜひ読んでもらいたいという本を尋ねてみました。多くの本が本学所蔵の本なので、自分の専門分野や興味を持っている分野への知見を深めたり、全く知らない分野の書籍に触れたりする良い機会になると思います。ぜひ手に取って読んでみてください！！



『発見！ニッポン 子ども文化大百科：幕末・明治』

上笙一郎監修/日本図書センター/384.5||Ha||1

激動の時代、幕末・明治。「明治維新」「富国強兵」「文明開化」など、社会や人々の暮らしが大きく変化した。子どもたちは当時どんな生活を送り、どういう遊びや学校生活を過ごしていたのか。本書はその様子を「社会」「学校・教育」「生活」「遊び・文化」の区分で説明している。写真や図版があって分かりやすく、まるでタイムスリップしたかのような。(子ども学類・学校教育学類 兎澤聖先生より)



『Q～こどものための哲学：NHK E テレ』シリーズ

NHK E テレ「Q～こどものための哲学」制作班編/ほるぷ出版/100||Ko||

ふだんの生活では見えなくなってしまうことや当たり前だと思っていることがたくさんあります。それについて考えることは、なにも難しいことばかりから始めることはありません。このシリーズの本は、知を愛するという営みが素朴な疑問とともにあることを、こどもの目をとおして私たちに教えてくれます。(人文社会学類 箭内任先生より)



『日本人のしつけは衰退したか：「教育する家族」のゆくえ』

広田照幸著/講談社現代新書/080||K||1448

大学生の時に先輩に勧められて読み、教育学への扉を開いてくれた本です。メディアでは、「最近の親はしつけができていない」「家庭の教育力が低下している」といった言説がよく聞かれますが、本当にそうなのでしょうか？ 本書では、文献や統計を駆使して通俗的な教育の見方を覆してくれます。歴史を学ぶことの面白さと大切さを痛感できる一冊です。(子ども学類 石井美和先生より)





『教育格差：階層・地域・学歴』

松岡亮二著/筑摩書房/327.107||Ma

この本では親の学歴や所得など出身階層と住む地域という、本人が選べない「生まれ」による教育格差は常に存在していることが告げられ、未就学段階から生じた学力の差は、高校まで縮まることなく拡がり続ける現実をデータ分析によって示されています。このままでは格差の再生産を止められないと警鐘を鳴らしています。
(人文社会学類 黄英先生より)



『料理と科学のおいしい出会い：分子調理が食の常識を変える』

石川伸一著/化学同人/498.53||Ri



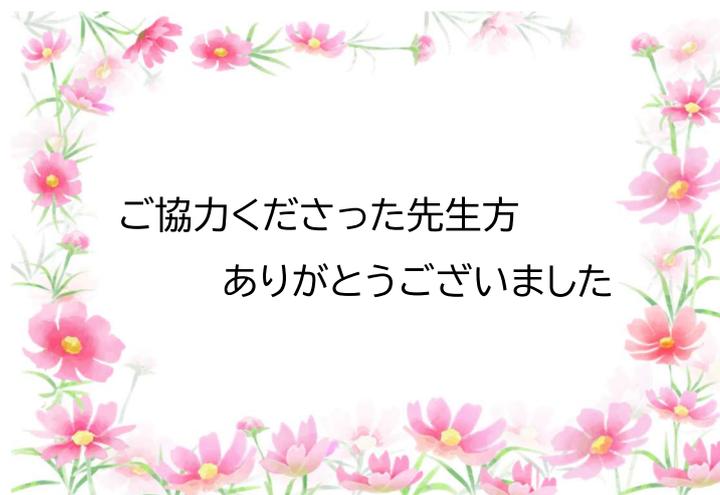
「料理は科学だ」。私も台所に立つと、調理手法の一つ一つが「これぞサイエンス！」と実感します。調理そのものが化学反応で、香ばしい匂いもおいしそうなお焼き色も全て化学反応生成物です。近隣大学の石川先生は、食材の特性と調理法を分子レベルの食品学と栄養学で徹底的に解き明かし、現実の料理を超えた「おいすぎる料理」の科学を痛快に説いています。ありふれた料理に潜む科学が見えてくるとあなたも失敗しない「超料理人」に変身できるかも？ です。
(健康栄養学類 星清子先生より)



『めんどくさがる自分を動かす技術』

富山真由著/永岡書店/(本学所蔵なし)

「やらなければならない」とわかっていることをつい後回しにしてしまい困っている人はいませんか？ そういう人は、「自分は意志が弱いのではないか」などと自分のせいにするより、この本に書かれていることを試してみるとよいでしょう。
(心理学類 田島裕之先生より)



本書の書影には国立国会図書館のAPIを使用しています。



学生選書リスト



ビブリアバトルガイドブック ルール改訂版	ビブリアバトル 普及委員会編著	019.9 Bi
これから学芸員をめざす人のために	杉本竜著	069.3 Su
「コミュ障」のための社会学：生きづらさの正体を探る	岩本茂樹著	361 Iw
富沢遺跡（日本の遺跡:50）	斎野裕彦著	092 Sa
文化・メディア（岩波講座社会学:12）	北田暁大,東園子編	361.08 Iw 12
柳田國男先生随行記	今野圓輔著	380.1 Ko
汚穢のリズム：きたなさ・おぞましさの生活考	酒井朋子[ほか]編著	389.04 Sa
読書装置と知のメディア史：近代の書物をめぐる実践	新藤雄介著	019.021 Sh
メディア論：理論と歴史から「いま」が学べる（「クリティカル・ワード」）	門林岳史,増田展大編	361.453 Ka
世界の古典と賢者の知恵に学ぶ言葉の力	シン・ドヒョン,ユン・ナル著/ 米津篤八訳	159.8 Sh
デザインカの基本：簡単だけど、すごく良くなる 77 のルール	ウジトモコ著	674.3 Uj
24 フレームの映画学：映像表現を解体する	北村匡平著	778.04 Ki
そうしないことはありえたか？：自由論入門	高崎将平著	151.2 Ta
心理学における構成概念を見つめ直す：歴史・哲学・実践の次元から	キャスリーン・スレイニー著/ 仲嶺真訳	140.16 Sl
因果推論の科学：「なぜ？」の問いにどう答えるか	ジューディア・パール, ダナ・マッケンジー著/ 夏目大訳	417 Pe
論証の教室：インフォーマル・ロジックへの誘い 入門編	倉田剛著	116 Ku
アファンタジア：イメージのない世界で生きる	アラン・ケンドル著/ 高橋純一,行場次朗共訳	141.5 Ke
特別支援教育をサポートする「自立活動」トレーニング&事例集 （発達障害を考える：心をつなぐ）	山田充監修	378 To



特別支援学級の異学年・小集団指導のポイント (特別支援教育 ONE テーマブック:5)	青山新吾編著	378 Ao
境界知能：教室からも福祉からも見落とされる知的ボーダーの人たち	古荘純一著	493.937 Fu
高機能自閉症・アスペルガー症候群及びその周辺の子どもたち： 特性に対する対応を考える	尾崎洋一郎,草野和子著	378 Oz
世界は思考で変えられる：自閉症の僕が見つけた 「いつもの景色」が輝く 43 の視点	東田直樹著	914.6 Hi
ワーキングメモリを生かす文章題・図形の教材：文章題の読み取りや 立式と図形・数量関係領域のつまずき解消! 実践編 (学研のヒューマンケアブックス)	河村暁著	378.8 Ka
場面緘黙の子どものアセスメントと支援：心理師・教師・保護者の ためのガイドブック	エイミー・コトルバ著/ 青柳宏亮,宮本奈緒子, 小暮詩織訳	378.8 Ko
発達の気になる子の学校・家庭で楽しくできる感覚統合あそび (発達障害を考える：心をつなぐ)	川上康則監修	378 Ha
新データで読む地域再生：「人が集まる県・市町村」は どこが違うのか	日本経済新聞社地域報道 センター編	318.6 Ni
限界ニュータウン：荒廃する超郊外に分譲地	吉川祐介著	365.35 Yo
これならわかる沖縄の歴史 Q&A 第2版	椋澤和夫著	219.9 Um
アイヌ語地名の南限を探る	筒井功著	291.2 Ts
北欧のスマートシティ：テクノロジーを活用したウェルビーイングな 都市づくり	安岡美佳, ユリアン森江原ニールセン著	518.8 Ya
今こそ知りたいアイヌ：北の大地に生きる人々の歴史と文化 (サンエイ新書:6)	時空旅人編集部編	382.11 Ji
知れば知るほどおもしろい琉球王朝のすべて：沖縄の歴史と、 王家・庶民の生活・文化まで 増補版	上里隆史,喜納大作著	219.9 Ue



このリストは5月に開催された
選書ツアーで選んだ本の一覧です。

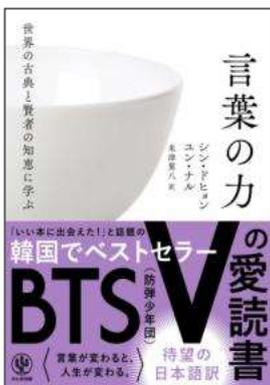
～「Library Mate」がおすすめする本～



「伊達政宗の手紙」

佐藤憲一著/洋泉社/289.1||Ds

伊達政宗の意外な一面を見ることが出来る一冊。
彼の強だけじゃない、人間味溢れる姿を、自筆の手紙から追ってみませんか。



「世界の古典と賢者の知恵に学ぶ言葉の力」

シン・ドヒョン、ユン・ナル著/米津篤八訳/かんき出版/159.8||Sh

話し方より言葉に注目したこの本、
自分自身も紡ぐ言葉を磨きたい方におすすめです。

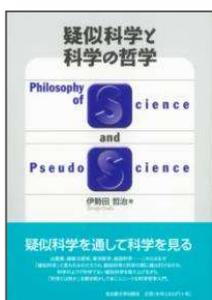


「心理学の7つの大罪：

真の科学であるために私たちがすべきこと」

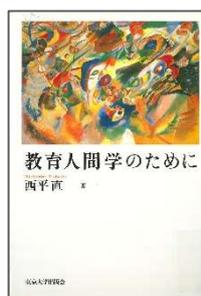
クリス・チェインバース著/大塚信一郎訳/みすず書房/140||Ch

私に心理学の再現性問題とはどのようなものかを教えてくれた本です。
心理学類の学生さんではなくとも、学問の科学的な部分に興味を持っている方
ならぜひ読んで欲しい一冊です。



「疑似科学と科学の哲学」

伊勢田哲治著
名古屋大学出版会/401||Gi



「教育人間学のために」

西平直著
東京大学出版会/370.4||N

「Library Mate」へのインタビュー

風の噂ではありますが、「Library Mate」の活動内容があまり知られていないというお話を聞いたので、今回は「Library Mate」の皆さんに加入するきっかけや好きな本、活動内容などをインタビューしました。

少しでも皆さんに「Library Mate」へ興味を持ってもらえると幸いです。

人文社会学類の A さん

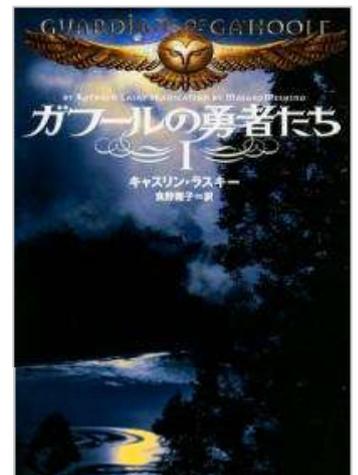


加入したきっかけは？

- 昔から本が好きで、大学入学時に図書館に何かの形で携わりたいと考えており、活動内容に惹かれたためです。

好きな本は？

- 好きな本「ガフルの勇者たち」です。この本は、小学校の頃、兄から勧められて読み始めました。登場人物は全てフクロウで、フクロウ世界の冒険と戦いを描いたファンタジー小説です。登場人物の行動に言葉に今も奮い立たされ、大好きなシリーズ小説です。



心理学類の B さん



加入したきっかけは？

- 選書ツアーという企画に魅力を感じたからです。
- 今も個人で持っているみんなに面白さを共有したい本や自分が今欲しいと思っている本を図書館という気軽にアクセスできるところに置ける良い企画だと思っています。

LibraryMateの活動はどんなものですか？

- 基本的に毎月MTGがありますが、それ以外は自由参加のものが多いので他のサークルや愛好会に所属している方でも兼業しやすいと思います。また、尚志祭の時には同時に図書館フェスタという図書館でのイベントが開催されます。
- さらに私が入るきっかけになった前期と後期に一回ずつに選書ツアーという企画では「Library Mate」が実際に書店にいて図書館に入れる本を選ぶことができます。このイベントは「Library Mate」しか参加できないので本好きの方や図書館にない本を入れたいという方はぜひ加入してみてください。

編集後記

こんにちは。「Lib.vol.8」をここまでお読みいただきありがとうございます。

今年度は新規メンバーが加入したことにより、前年度よりも多い4人体制で「Library Mate」として活動しています。とはいえ、人数が少ないのは相変わらずなので興味がある方は図書館まで連絡をしてみてください。

ところで、10月の尚志祭と同時に開催される図書館フェスタでは、ここで紹介された本が実際に展示されます。

また、クイズラリーやしおり作りといった企画を行う予定なのでぜひ皆さんお越しください。

重ね重ねになりますが、ここまでお読みいただきありがとうございました。

また来年度に刊行される「Lib.vol.9」でお会いしましょう。

(Lib.vol.8 編集長)



学生がつくる尚綱学院大学図書館

広報誌 Lib. {リブ} vol.8

2024年10月発行

編集/発行 尚綱学院大学図書館 Library Mate

尚綱学院大学図書館 almo

〒981-1295

宮城県名取市ゆりが丘4丁目10番1号

Tel 022-381-3440 Fax 022-381-3441

<https://www.shokei.jp/library/mate/>